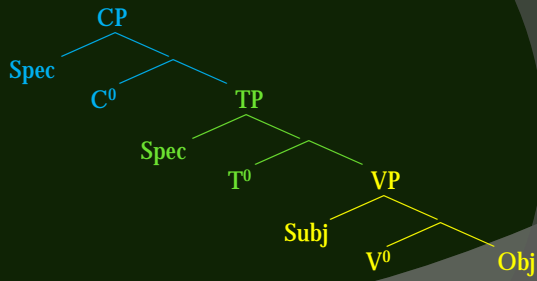


文の普遍的な基本構造



<http://www.denmark-mobile.com/detail/fm114.html>

基本語順のバリエーション

SVO OSV

SOV OVS

VSO VOS

O>S型言語は(ほとんど)存在しない

- (1) 太郎がパンを食べたよ (SOV)
- (2) パンを太郎が食べたよ (OSV)
- (3) 太郎が食べたよパンを (SVO)
- (4) パンを食べたよ太郎が (OVS)
- (5) 食べたよ太郎がパンを (VSO)
- (6) 食べたよパンを太郎が (VOS)

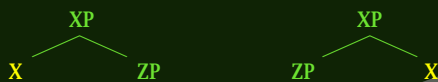
派生語順は基本語順に移動が適用

主要部パラメータ Head Parameter

Xバー構造における、主要部と補部の相対的線形順序を決定する媒介変数

Head-First (Head-Initial)

Head-Last (Head-Final)



鏡像関係 Mirror Image

◎ 日本語 (Head-Last)

◎ 英語 (Head-First)

ビールを飲む
[VP Obj V]

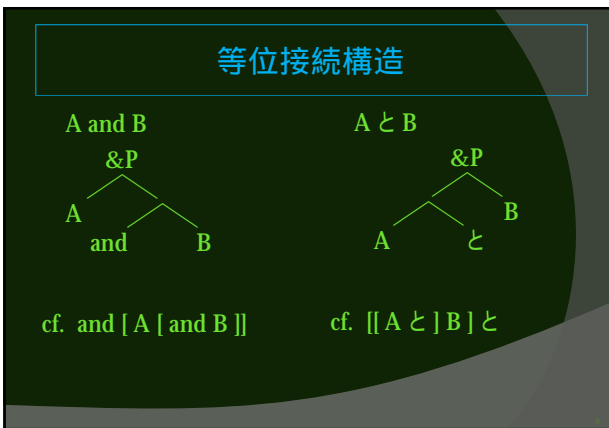
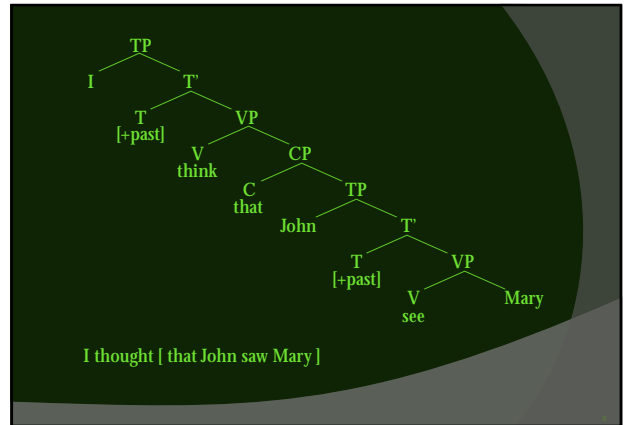
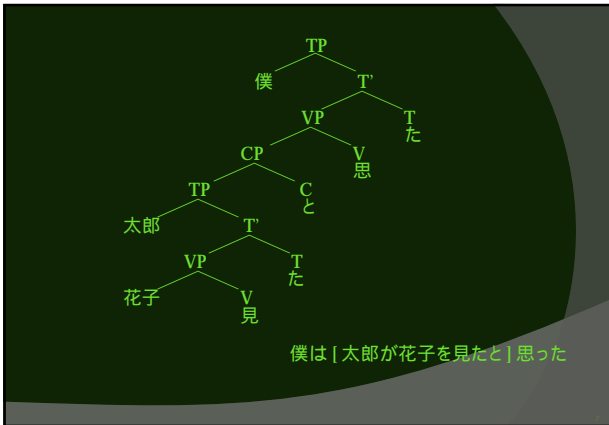
drink beer
[VP V Obj]

駅へ
[PP Obj P]

to the station
[PP P Obj]

数学の学生
[NP Obj N]

student of math
[NP N Obj]



- ◎ 対称性の破れ
- ◎ 初期条件にわずかの変動があれば, それに従って一気に傾きができる
- ◎ 母語獲得: 全部を経験しなくとも, わずかの手掛かりに基づいてすべて分かる
「一を聞いて十を知る」

- ### 原理・媒介変数モデル Principles and Parameters Model
- ◎ 普遍文法 (UG) は少数の一般原理と, それに付随するパラメータ (媒介変数) から構成される
 - ◎ 各パラメータの値を設定することで, 個別文法が定義される
- 母語獲得 = Parameter Setting**
一般原理を各個別文法に適合するように微調整し実効

- (1) Who did you see? (cf. *You saw who?)
 - (2) 君はだれに会ったの
 - (3)
 - a. Qui as tu vu?
 - b. Tu as vu qui?
- Wh移動の存在: 普遍 (一般原理)
Wh移動の顕在性: 多様 (パラメータ)

UGの条件

- どの個別文法にも対応可能な柔軟性・内容の豊かさ(多様性)
- 僅かの経験で母語獲得を可能にするだけの制限力(普遍性)

この矛盾を解決する必要がある

- 一般原理: 普遍性
- 媒介変数: 多様性

原理自体は普遍的であるが、それが実際に作用する際、パラメータの相違により多様性が生まれる

UG原理

- Xバー理論 (X-bar Theory)
- 移動理論 (Movement Theory)
- 束縛理論 (Binding Theory)
- Θ理論 (Theta Theory)
- 格理論 (Case Theory)
- 境界理論 (Bounding Theory)
- 統率理論 (Government Theory)

- 「言語は人間の本性を構成する遺伝プログラムに従って出現すると考えられる。ほかのいくつかの動物と共有しているが、何か不思議な理由のために人間において特に発達している学習能力のお陰だと言うのは間違いである。言語の獲得において学習の果たす役割はきわめて大きい。この学習というのは人間固有の学習形態であり、それは人間という種に特有な大脳皮質の構造によって活性化される。」

ジャック・メレル他『赤ちゃんは知っている - 認知科学のフロンティア』藤原書店

- これらは言語固有の生得的原理として提案されたものであり、その起源・進化を説明することは困難

- 現在は、さらに一般性の高い自然法則からこれらの効果を導き出す試みがなされている (ミニマリスト・プログラム)